



未来の  
ブカツ  
SPORTS



# 学校施設を中心とした 地域×スポーツクラブ産業の融合による 社会システムの検証 ～大阪府立箕面東高等学校版～

コナミスポーツ株式会社・FirstPenguins株式会社

報告書の期日

# 目次～共通～

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 目次～共通～

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 課題とゴール

1

部活動の地域クラブ移行

2

学校施設を複合型施設への転換

- 大阪府立（箕面東高校）・東京埼玉私立（立教新座池袋中）での検証

2021年度

地域スポーツクラブがサービス業として自立しつつ、  
部活動の受け皿となりうるための課題を抽出し、検証を行う

※最終的な目指すべき姿

学校を中心に地域スポーツクラブがサービス業として自立資金循環




FS

地域スポーツクラブがサービス業として自立しつつ、部活動の受け皿となりうるための課題抽出し、検証を行う

政府計画/目標	課題	施策
(1) 文部科学省 学校の働き方改革の 推進 上限「指針」の策定 ① 1か月時間外在校等 時間 45時間以内 ② 1年間時間外在校等 時間 360時間以内	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動が長時間勤務の要因の1つ</li> <li>引率などによる休日出勤、勤務時間の増大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部人員配置支援</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧問の6割は担当種目の競技経験なし</li> </ul>	部活動の見直し →令和5年度の休日の段階的地域移行 令和3年度から実践研究
(2) スポーツ庁 スポーツ指針計画 中学生 スポーツする時間持ちたい：58%→80% 成人 スポーツ実施率(週1)：42%→65%	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にスポーツ活動ができる環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の有効活用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育をはじめ、子どものスポーツ機会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動部活動における指導力向上や指導体制の充実</li> </ul>



最終的に目指す姿（仮説）
<p>※左記載の課題解決の道筋を発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校「複合型施設」への転換 【地域で支える学校→地域を支える学校】</li> </ul>  <p><b>① PPP指定管理のノウハウを活かし学校管理運営</b></p> <p>(学校部活動指導、学校授業指導（一部）、地域スポーツクラブ運営、学校施設管理、など) ×DXツール</p> <p><b>② 部活動,スポーツ活動にとどまらない放課後サービス展開</b></p> <p>(全世代向けスクール展開、地域活性イベントなど) ×DXツール</p> <p><b>学校を中心に地域スポーツクラブがサービス業として自立資金循環</b></p>

# 目次～大阪府立箕面東高校～

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

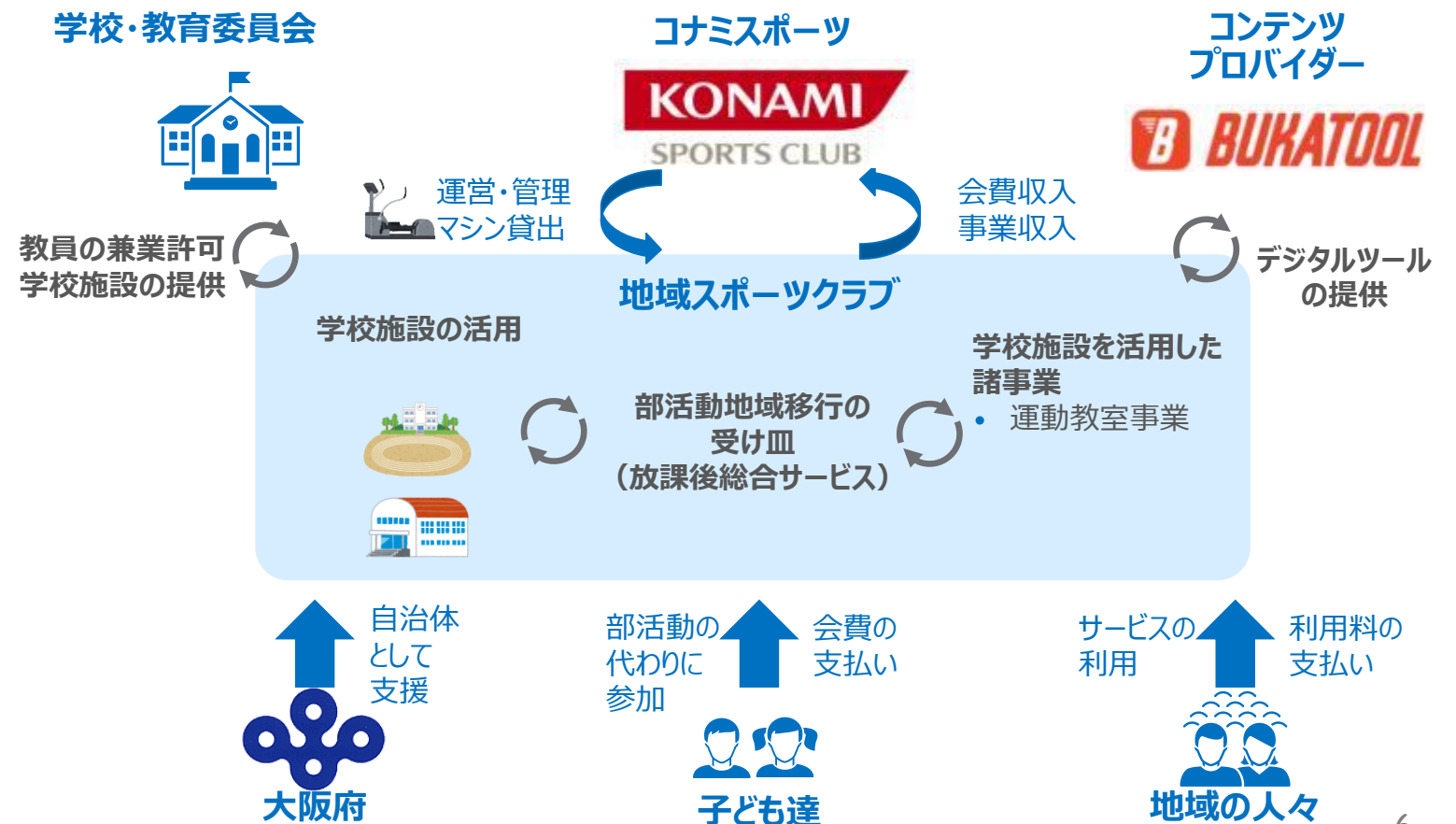
## 事業概要と目指す姿（大阪府版）

### 事業概要

類型	A・B類型 (一般法人×オープン, 特定)
事業者	コナミスポーツ First Penguin
他連携先	-
実証自治体/ 学校	大阪府 箕面東高等学校
概要	コナミスポーツのクラブ運営・PPPのノウハウ・アセット(トレーニングマシン等)× BUKATOOLによる運営効率化を活かし、学校施設を中心とした地域スポーツクラブの設立を、公立(大阪府)と私立(立教大学)の2通りで検討

### 目指す姿

コナミスポーツを母体とし、学校施設を活用した地域スポーツクラブを創出。コナミの指導者とマシンといったノウハウ・アセットを活用した質の高い指導を提供し、生徒から収受する受益者負担額と地域の人々から収受するサービス利用料での自走を目指す(将来的には学校施設の指定管理も見据える)



## 検証ポイント

ポイント	概要	実証有無
① 収益の確保	1 会費収入 コナミスポーツより指導者を派遣し、対象競技に対するトライアル指導を行い、受益者満足度・負担受容度の検証、実現にあたっての課題抽出等を実施	✓
	2 事業収入 地域の方向けに、学校に設置した専門マシン**を用いて運動指導や運動教室のトライアルを実施。受益者の満足度、潜在的ニーズの把握、実現にあたっての課題抽出等も実施	✓
	3 自治体からの支援 自治体との協議の中で、将来的な本事業における市からの補助金、委託料など、市の負担余地を検証	会議体*での検討まで
	4 指導者の質・量の確保 コナミスポーツより専門的技術指導を行える人材を派遣を行うことで、質が高く、多様な競技に対応できる指導者提供スキームの検討を実施。対象部活動については実証も実施	✓
② 効果的・効率的な運営	5 学校施設の管理・運営 コナミスポーツのPPP指定管理のノウハウを活かし、学校管理運営計画を策定。収入規模試算、実現にあたっての課題抽出等も実施。立教版では近隣のコナミスポーツクラブも活用	会議体*での検討まで
	6 デジタルツールの活用 BUKATOOL***の導入により最先端のコーチングコンテンツを配信するとともに活動予定管理ツールも提供。利用者満足度、最適な活用方法、追加すべき機能の検証を実施	✓
③ 学校部活動との関係整理	7 学校・地域との協働 会議体*による協議を通じて、設立予定のスポーツクラブにおける教員の兼業・副業スキームの検討、実現にあたっての課題抽出等を実施	会議体*での検討まで
④ 放課後総合サービス検討	8 学校施設の活用可能性 専門マシン**を学校の空き教室に設置し、生徒・保護者・地域の方向けのサービスの展開計画を策定。数回トライアルも行い、ニーズ調査、収入試算、課題の抽出を実施。	✓

上記は大阪版を想定。立教学院版についても検証ポイントは同様だが、学校・施設の実態によって検証結果は異なる可能性がある



## 検証ポイント

検証POINT・具体例			大阪府	東京都
①収益性の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担受け入れの可否</li> <li>受益者負担以外の施策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者を指導員として派遣検証（満足度、金額など）</li> <li>地域住民へのトレーニング、教室の実施検証（内容、金額、参加者、満足度など）</li> </ul>	○	○
②効果的・効率的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の質・量の確保</li> <li>活動場所の確保</li> <li>運営効率化のツール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導経験者、ライセンス保有者の活用</li> <li>学校施設活用と民間スポーツ施設活用</li> <li>BUKATOOLの活用と機能追加</li> </ul>	○	○
③学校部活動との折り合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理責任について</li> <li>顧問教員との連携について</li> <li>教員の継続的な活動について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツール活用によるコミュニケーション管理</li> <li>定例報告によるコミュニケーション</li> <li>教員の副業の要素の検証</li> </ul>	○	○
④参加者の反応	部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の充実度</li> <li>生徒の運動機会の創出</li> </ul>	○	○
	地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人のスポーツ実施率向上</li> </ul>	○	—
⑤教員の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の働き方改革</li> <li>指導を続けたい教員への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員の派遣⇒部活動指導時間の削減</li> <li>BUKATOOLの活用⇒部活動指導の効率化</li> </ul>	○	○
⑥指導員の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担の場合の指導単価検証</li> <li>指導員の育成と雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員の単価検証⇒①より検証</li> <li>学生指導員の育成と未来に向けた雇用検証</li> </ul>	○	○
			—	○

## 提案時の事業計画

### 2021年度

フュージビリティスタディ実施  
-環境整備-

- 部活動への指導員派遣
  - 専門的技術指導が行える指導員を派遣（全日）
  - 有資格者による品質維持
- BUKATOOL活用
  - 一流指導ノウハウの共有
  - コミュニケーションツール利用
  - 指導者・教員の負担軽減
- 学校施設の利活用
  - 安全で専門的なトレーニングができるマシンの設置
  - 地域住民への施設開放、運動教室等の実施

### 2022年度

フュージビリティスタディ実施  
-FSの本格実施-

- 受益者負担による部活動指導員派遣
  - FSにて検証した指導単価での派遣をモデル校で実施
- 受益者負担のための予算捻出
  - 保護者負担
  - 自治体負担
  - 政府負担
  - 学校施設での資金循環
- 施設利用時の利用料徴収
  - 妥当性の検証
  - 運動実施率向上の検証
- 学校施設管理運営の検証
  - 施設管理の検証（修繕、備品、施設全般）
  - 放課後サービスの検証（スポーツ活動以外）

### 2023年度～

フュージビリティスタディ実践  
-最終的に目指す姿の段階的实施-

※2023年度～

- 部活動の完全な地域移行
- 地域への学校施設開放の実施  
地域住民運動教室展開 ※受益者負担の展開

※最終的に目指す姿のモデル実践

### 最終的に目指す姿

- 学校「複合型施設」への転換  
地域で支える学校→地域を支える学校



#### ① PPP指定管理のノウハウを活かし学校管理運営

（学校部活動指導、学校授業指導（一部）、地域スポーツクラブ運営、学校施設管理、など）×DXツール

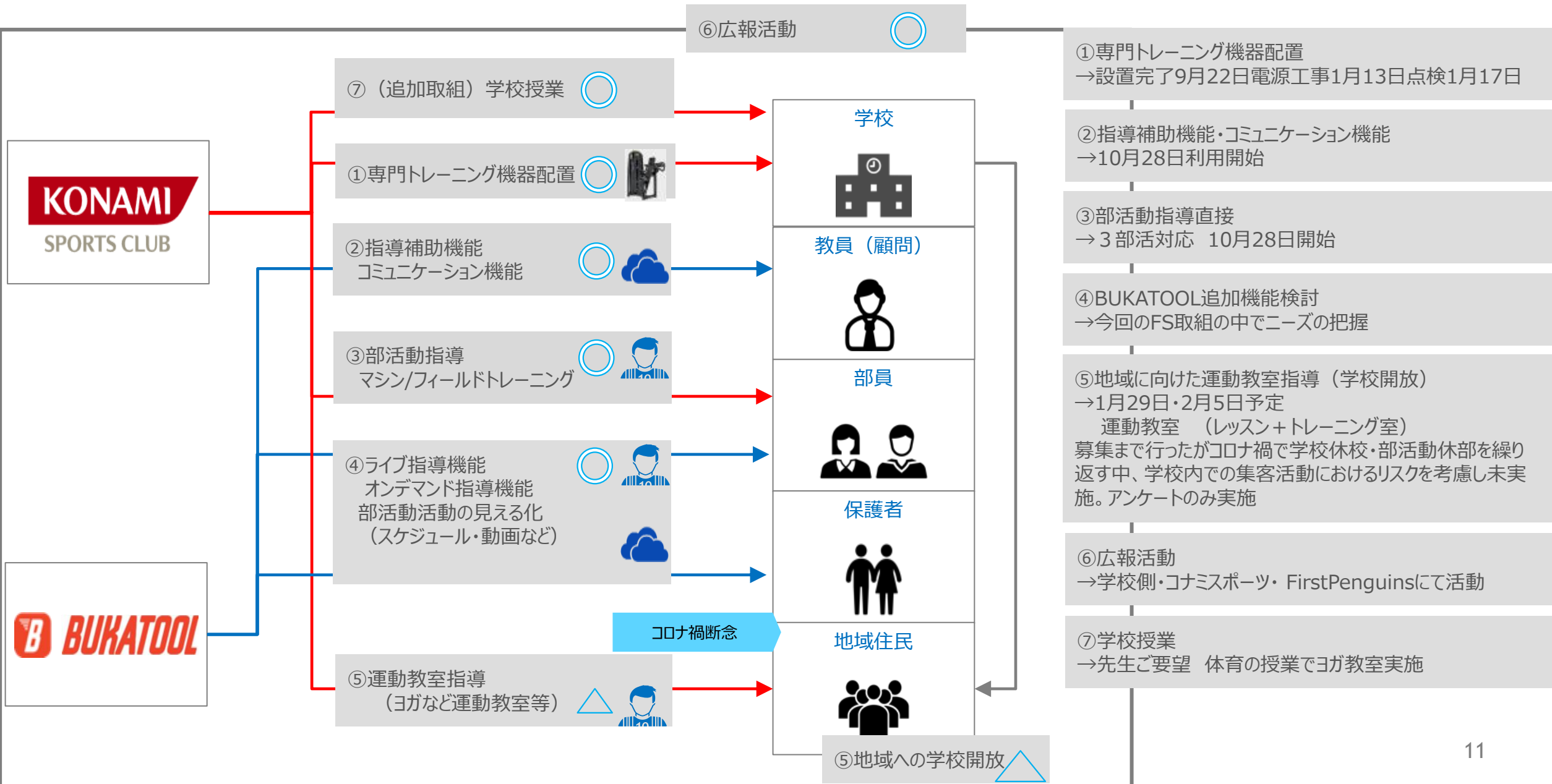
#### ② 部活動、スポーツ活動にとどまらない放課後サービス展開

（全世代向けスクール展開、地域活性イベントなど）×DXツール

# 目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

# 箕面実施内容



## b. 21/10/27→22/2/10 体力測定



## □概要


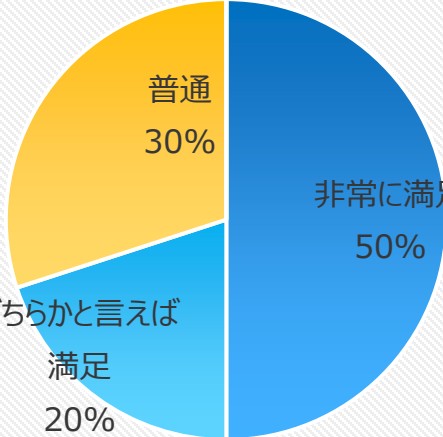
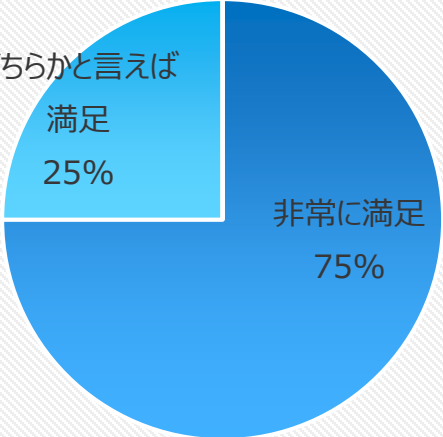
- 筋力系3種目、フィールド系4種目の測定を実施。
- 期間中、中間測定・最終測定を実施し初回測定時からの数値変化を測定、記録する。
- 測定結果はランキングと個別通知表にて通知し、生徒のモチベーションアップにつなげる。
- 数値の高いランキングだけではなく、初回測定からの伸び率ランキングも作成・公開することで全ての生徒のモチベーションをカバー。

## □結果

- 筋力測定3種目はすべての種目で全員が初回から伸長
- フィールド種目4種目のうちパワー系要素を多く占めるメディスンボール投げと折り返し走は伸長
- スピード・キレを要する垂直飛びと30m走は以下の理由により鈍化傾向
  - 1月～2月部活動の休部影響
  - スケジュール・内容は“スピードとキレを犠牲にしてでも身体の土台となる基礎造り・筋量増”を目指した内容（結果の鈍化＝想定内）

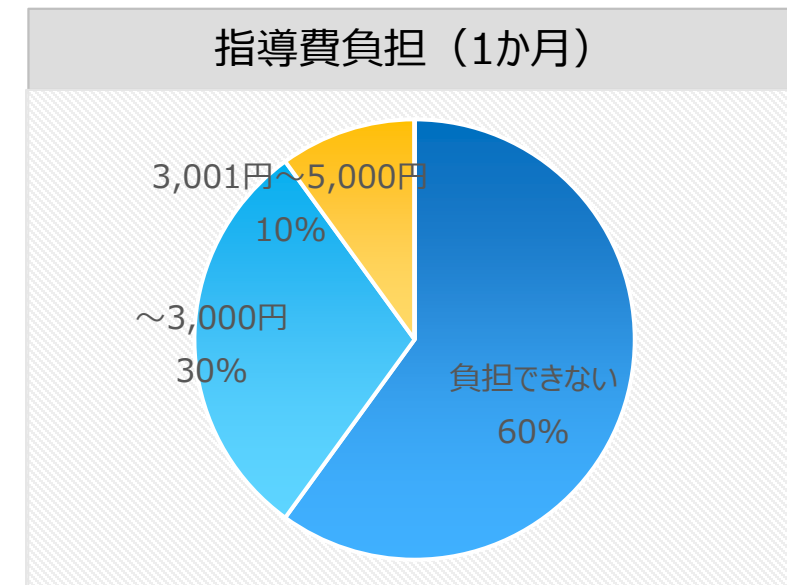
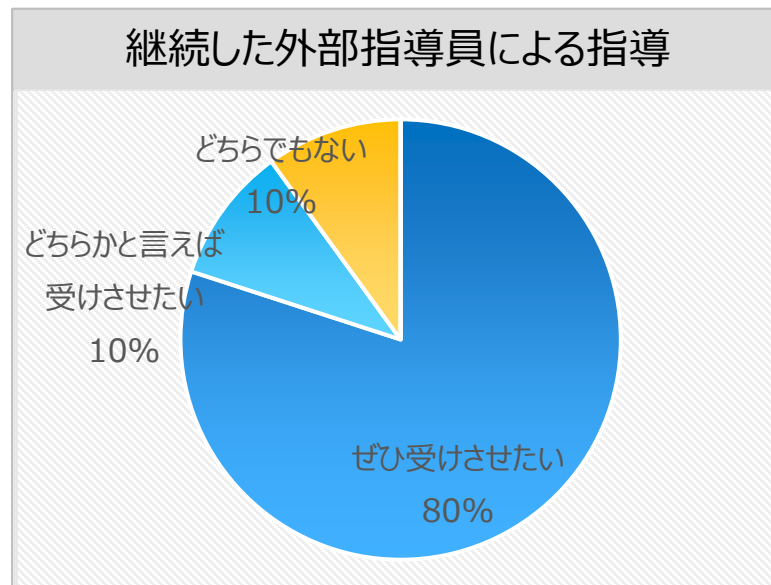
対象人数	部活	ベンチプレス	スクワット	デッドリフト	垂直飛び	30m走	折り返し走	メディスンボール
7	野球	124.9%	190.3%	125.3%	96.7%	99.8%	105.7%	104.0%
8	バスケ	111.3%	185.2%	151.8%	99.8%	100.3%	104.0%	104.0%
6	サッカー	118.0%	167.4%	113.1%	102.6%	98.9%	103.1%	110.0%
	合計	117.7%	181.1%	131.2%	99.6%	99.7%	104.3%	105.7%

## b. アンケート：部活動指導結果（満足度）

部員	保護者	先生
 <p>非常に満足 100%</p>	 <p>非常に満足 50%</p> <p>普通 30%</p> <p>どちらかと言えば 満足 20%</p>	 <p>非常に満足 75%</p> <p>どちらかと言えば 満足 25%</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>筋力が上がったし楽しかった</li> <li>自分に自信が持てるようになった</li> <li>筋肉の付け方やトレーニングをしっかりと教えてもらった</li> <li>今まで3日坊主だったが続けることができた</li> <li>部活で上手くなった</li> <li>トレーニングが好きになった</li> <li>質の高いトレーニングができた</li> <li>初めて、しっかりとしたトレーニングを教えてもらった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人にやる気があって楽しそう</li> <li>経験してなかったトレーニングを受けることができた</li> <li>本人もやる気であり、楽しんでいる様子</li> <li>子供が満足している</li> <li>専門的に教えてくれている</li> <li>体力がついた</li> <li>筋力が確実にアップした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務で部活動に行けずに困っていた。すごく助かった</li> <li>生徒のトレーニングに対する取り組みが見違えるほどよくなった。良い距離感で接してもらっていた</li> <li>1つのことを続けられない生徒が多いので継続して取り組めたことが良かった</li> <li>安心して任せることができた</li> </ul>

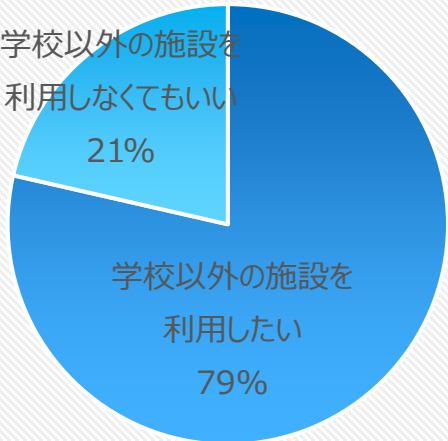
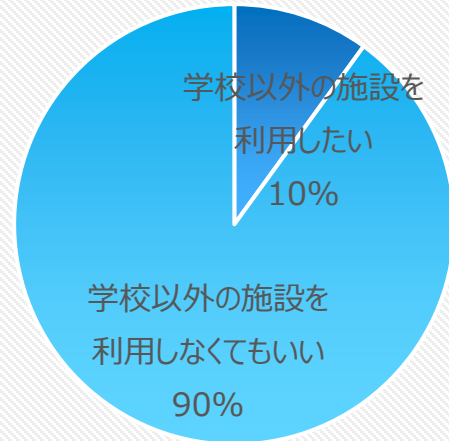
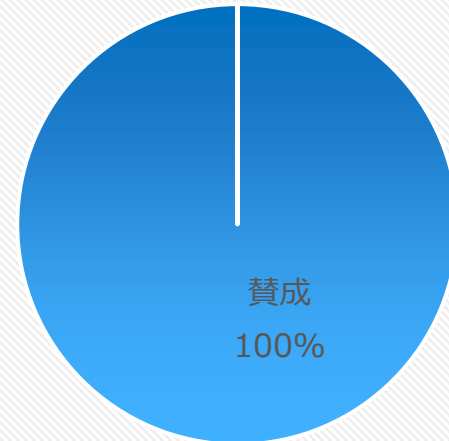
専門指導員による指導は評価いただいた。短期間ではあったが正しいトレーニングを行うことにより筋力・体力レベルUP、またコナミスポーツの指導の特徴であるトレーニングを楽しむことで成果に繋がる検証ができた。日頃教育をしている先生に代わり指導することの距離感も評価いただいているが、今後の展開を考えて部活動の社会教育等活動の意義、目的のすり合わせは必要である。

## b. アンケート：部活動指導費用（保護者）



部活動受益者負担に関し、継続して外部指導員（コナミスポーツ）に受けさせたいとの回答（ぜひ受けさせたい・どちらかと言えば受けさせたい）が9割であったものの、指導費用を負担できないという回答が6割と過半数を超えた。3,000円以下が3割、5,000円以下が1割とシビアな回答。希望の平均指導単価は1,400円程度にとどまった。

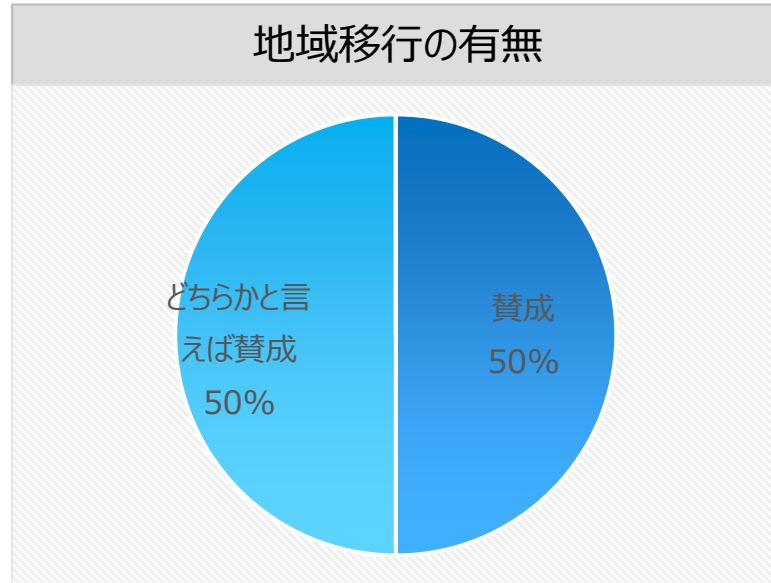
## b. アンケート：部活動地域移行（学校外環境活用）

部員	保護者	顧問
 <p>学校以外の施設を 利用しなくてもいい 21%</p> <p>学校以外の施設を 利用したい 79%</p>	 <p>学校以外の施設を 利用したい 10%</p> <p>学校以外の施設を 利用しなくてもいい 90%</p>	 <p>賛成 100%</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通ってみたい</li> <li>・家から遠いので通えない</li> <li>・体を鍛えたい</li> <li>・トレーニングで不安なところを聞きたい</li> <li>・もっと色々な人に指導して貰いたい</li> <li>・もっとパフォーマンス能力をあげたい</li> <li>・設備が整っている</li> <li>・自分のためになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通うのが大変だから</li> <li>・学校で利用できるので学校で十分</li> <li>・料金の問題</li> <li>・子供でも利用しやすいのでいいと思う</li> <li>・無償であれば利用したい</li> <li>・利用料金の負担ができない</li> <li>・時間が無い</li> <li>・特に必要性を感じていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が同じ環境に慣れすぎて刺激が必要</li> <li>・週1回から2回外部のトレーニング施設やバッティングセンターなどを利用することで、生徒のモチベーションの向上 教員負担減につながる可能性がある</li> <li>・生徒に色々なトレーニング、色々な人の考えを吸収させたい</li> <li>・生徒にとって様々な刺激があり、効果的だと思う</li> </ul>

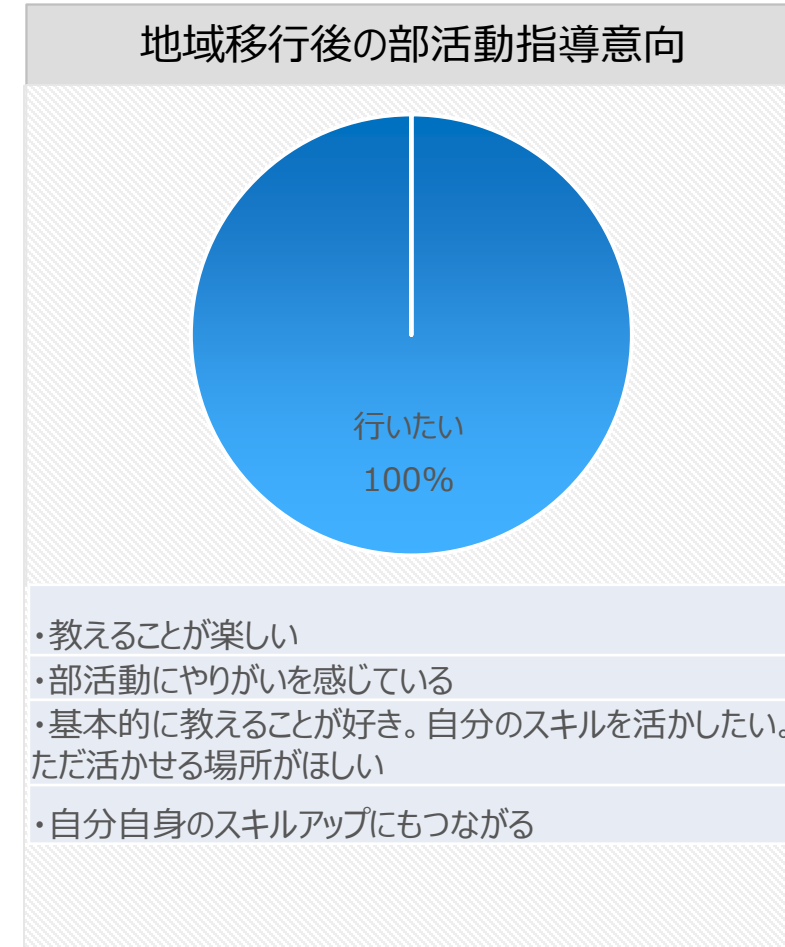
部員・顧問は学校外環境を利用して部活を行うことに大多数が賛同しているが、保護者は必要性を感じておらず、通わせる手段・料金負担の懸念があることが分かった。



## b. アンケート：部活動地域移行（先生）



- ・部活動のあり方は大変意義があり、日本の競技協向上の為には、もっともな方法の1つだと考える
- ・部活動を無理矢理もたされている教員もいるのでそのような状況には外部地域をどんどん巻き込んでいけば良いと思う
- ・生徒の成長につながるのであれば様々な選択肢があってもよい。多くの人が支える方が教育面でもよい

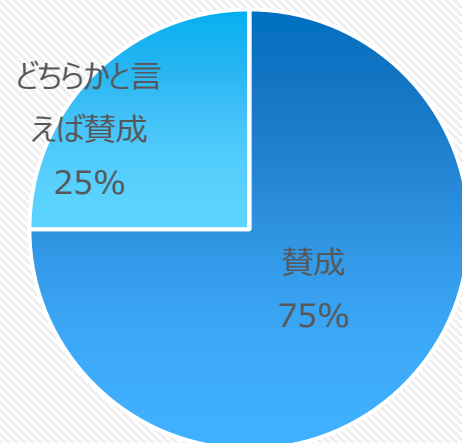


- ・教えることが楽しい
- ・部活動にやりがいを感じている
- ・基本的に教えることが好き。自分のスキルを活かしたい。ただ活かせる場所がほしい
- ・自分自身のスキルアップにもつながる

顧問の先生も、今後の生徒の部活動環境や成長に繋げるためにも地域移行には賛成している。また地域移行後も部活動指導を行いたいと考える先生が一定数存在すると捉え、対応方法の検討が必要。（今回は箕面東は部活動指導に熱心な先生方による回答の為、立教との取り組みとの比較も必要）

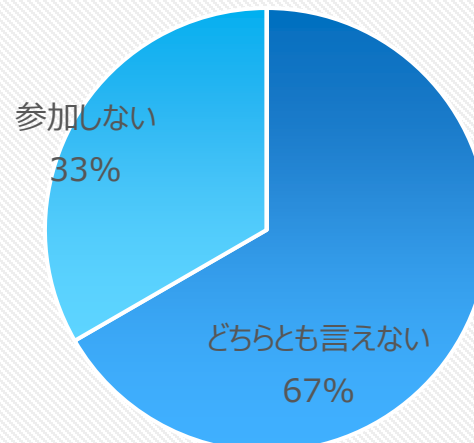
## b. アンケート：学校開放サービス展開

学校開放の有無（先生）



- ・施設の有効活用はすべき（セキュリティやその他の課題は要調整）
- ・地域に愛される開かれた学校を目指していかなければ公教育が衰退してしまう
- ・地域とつながることは大切だが、部活動優先というところは保ってほしい
- ・本校では土日など部活動を行うクラブ数が少なく、もったいないといつも感じている

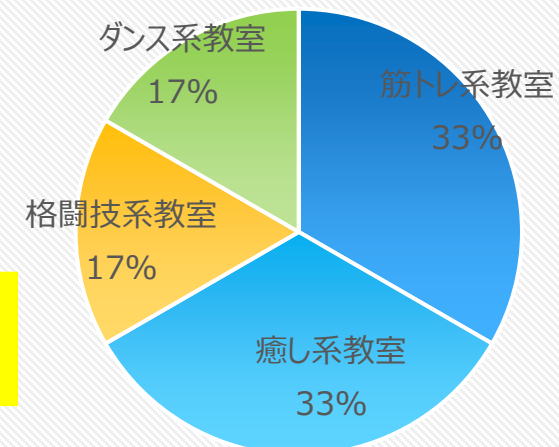
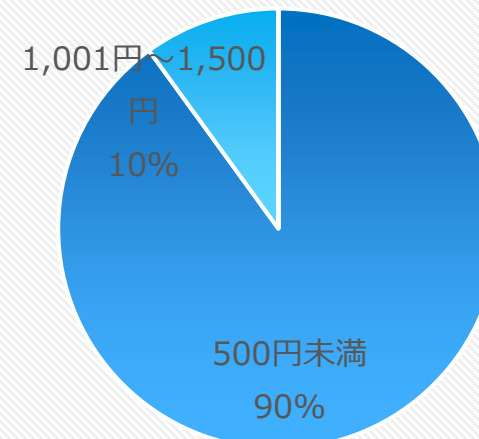
学校開放参加有無（保護者）



- ・忙しい、仕事がある
- ・運動が苦手
- ・時間等と料金の問題
- ・あまり考えていなかった

コロナ禍により学校開放未実施のためアンケートのみ取得

学校開放参加費（保護者）



教員は学校存続、地域との繋がりも考え学校開放でのサービス展開に賛同しているものの、学校教育（部活動）が優先との考えがある。地域に向けた学校開放はコロナ禍もあり断念しており、保護者のご意向のみ参考アンケートを行った（検証できず）。引き続き、教育委員会・校長と実施協議を行う。現時点ではサービスを行う環境、セキュリティ面や空調設備などが整っていない為、改修等も協議が必要。

## c. 21/12/1 BUKATOOL 提供サービスコンセプト



経産省  
スポーツ庁

未来の教室  
運動部活動改革プラン

採択事業  
採択事業

トライアル参加校 **全国11校 約300名**  
ラグビー部7校 野球部4校



### デジタルコーチ



- 一流コーチによる心技体の指導コンテンツ  
オンライン、現場コーチのマッチング  
(100本超のコンテンツ配信中)

### マネジメント



- 活動予定をオンラインで登録管理共有  
関係者間のコミュニティ機能

### エンタテイメント



- 活動模様の動画を配信  
関連グッズのオンラインショップ (\*)  
\* 売上の一部を部費に還元

する人・見る人・支える人

学校



教員 (顧問)



部員



保護者



OBG



**実証にてWebアプリ (スマホ) を通じて検証実施**



最先端の指導

効率的な活動管理

活動の見える化

# c. 21/12/1 BUKATOOL デジタルコーチ（スキルシェア）

## 実施した内容

## 期待された効果

## 得られた学び

**スキルシェア**  
 ・スキルシェアコンテンツの配信  
 ・分析、栄養、ラグビーの新規コンテンツ配信  
 （サッカー、野球はコロナの影響でリスクが重なり未収録）

**競技力・指導力の向上**  
 指導環境格差をなくすことによる  
 競技力、指導力及びそれぞれの意欲の向上

**利用率 箕面東：36%（5/14名） 立教：12%（9/76名）**  
 生徒：自らアクセスし学びを得ることは限られている  
 顧問のリードがないと、競技スキル習得に直結するもの以外に興味を示さない  
 顧問：価値を感じているものの、多忙極める中で選択するまでに至らない

**顧問が部員たちへ視聴を促す機能が必要**

## アプリ提供

個別アプリ不要とする  
 LINE公式チャンネルよりのアクセス

## 利用障壁の削減

LINEユーザーであればアプリをダウンロードせずに利用を開始できる

## 立教池袋・新座中学では学内でのスマホ利用禁止

生徒：顧問からの強い導入がないと利用しない  
 学校内でスマホ禁止のため、利用しない（立教池袋・新座中学）  
 顧問：利用はしているが、生徒の利用状況までは追いきれていない

**部員たちの習得状況を把握する機能が必要**

## メッセージ配信

LINE公式チャンネルよりコンテンツに関するメッセージ配信

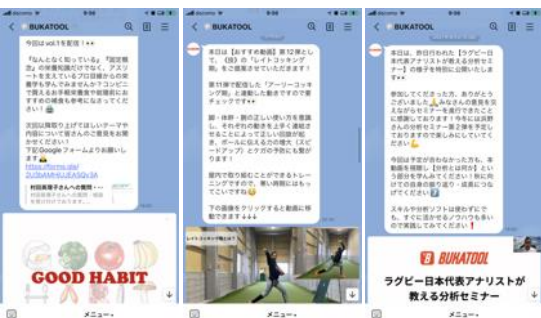
## 利用喚起

コンテンツの新鮮度に頼らず、  
 価値のある普遍的なコンテンツの利用促進

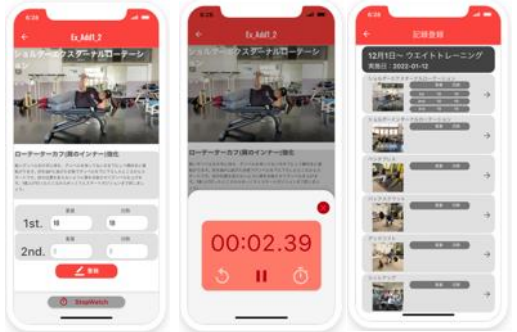
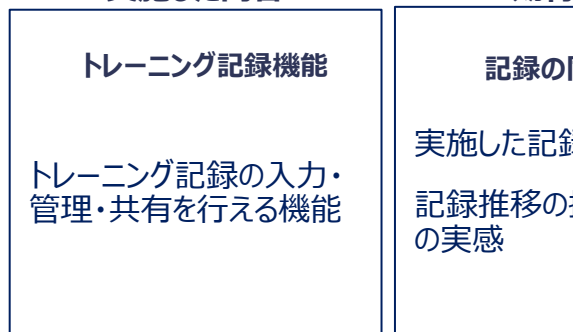
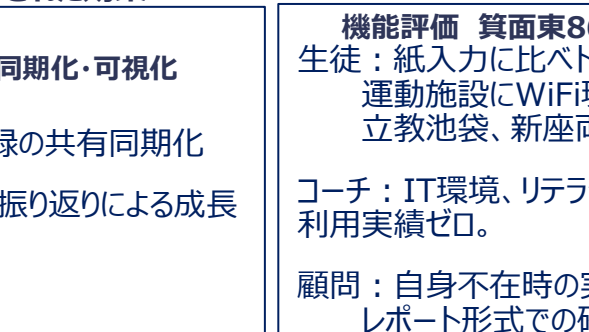
## 期間中のメッセージ開封率は約70% 視聴アクセスは約10%未満

生徒：自分の抱えている課題ややりたいこと、わかりやすいテーマに直結するものには反応するが、上達するものに繋がるものの時間がかかるものは興味を示さない  
 顧問：日頃より確認もしているため、新しいものには反応する

**既存コンテンツの価値活用する仕組みが必要**  
**新たなコンテンツを頻度高く、既存と組み合わせ配信することが必要**



## c. 21/12/1 BUKATOOL マネジメント (トレーニング記録管理)

実施した内容	期待された効果	得られた学び
 <p><b>トレーニング記録機能</b></p> <p>トレーニング記録の入力・管理・共有を行える機能</p>	<p><b>記録の同期化・可視化</b></p> <p>実施した記録の共有同期化 記録推移の振り返りによる成長の実感</p>	<p><b>機能評価 箕面東86% (12/14名) 立教新座中学陸上 : 57% (8/14名)</b></p> <p>生徒 : 紙入力に比べてトレーニングの間にスマホを開く煩わしさがある 運動施設にWiFi環境がなく、生徒のスマホ通信速度制限が利用を妨げる 立教池袋、新座両中学では校内スマホ利用不可。新座中陸上部のみ参加。</p> <p>コーチ : IT環境、リテラシーによって利用度に差が大きく生じ、ウエイトトレーニングでは利用実績ゼロ。</p> <p>顧問 : 自身不在時の実施状況の把握に効果的だが、個別確認は煩雑のため、レポート形式での確認を希望 <b>記録の推移、予測など、生徒の入力が続くインセンティブが必要</b></p>
 <p><b>日誌機能</b></p> <p>日々の記録と同時に自由記述で日誌や質問を指導者とやりとりできる機能</p>	<p><b>コミュニケーション促進</b></p> <p>指導者とのコミュニケーションによる成長の促進</p>	<p><b>利用率 箕面東 : 0% 立教新座中学陸上 : 0%</b></p> <p>生徒 : 入力するインセンティブを感じないと入力しない</p> <p>顧問 : 成長に必要なものと認識しており、生徒と日々やりとりを希望するものの(顧問からの希望にて実装)、毎日個別に記入対応するのは重たく、入力しない <b>記録の実績から得られる専門家のアドバイスなどのインセンティブの検討が必要 部員同士でコメントをする機能、顧問が入力負担なく反応できる機能が必要</b></p>
 <p><b>メニュー登録機能</b></p> <p>指導者がトレーニングメニューを作成し、生徒と共有できる機能</p>	<p><b>効果的な指導</b></p> <p>トレーニングメニューを現場口頭説明だけでなく、随時確認できることで理解度が上がり、成長を促進</p>	<p><b>機能評価 箕面東 : 57% (8/14名) 立教新座中学陸上 : 79% (11/14名)</b></p> <p>生徒 : メニュー実施時に確認するツールとして利用 コーチ : IT環境、リテラシーによって利用度に差が大きく生じる 顧問 : フィジカルのみならず、フィールドでおこなう競技練習でも活用したいが、入力するのは重たく、入力しない <b>部内でのトレーニング全般のナレッジ共有ツールとしての有効性を確認 前頁のコンテンツとのつながりを作るなどの機能の使いやすさが必要</b></p>

## c. 21/12/1 BUKATOOL 今後に向けて

## デジタルコーチ

## ＜生徒の成長＞

指導ノウハウの共有による顧問の指導に関する負担軽減、生徒の成長促進に資するが、コンテンツ配信だけでなく、コンテンツの提供だけでは、自力で学習し成長できる素質をもつ生徒に利用が限定されるため、顧問から生徒への共有フローを提供することで利便性を高めることで改善したい。

## ＜顧問の負担軽減＞

顧問インタビューを通じて、部活動による拘束時間だけでなく、指導方法の解を求める負担が大きいと分かった。コンテンツ配信だけでなく、自身が持つ悩みを相談できるような場が必要と考えており、2022年度中に機能開発を行い、提供を開始する予定。

## マネジメント

## ＜生徒の成長＞

トレーニング記録をつけていくことへの必要性は理解できているが、入力する煩わしさをできる限り排除すること、入力することで得られるインセンティブを働かせる仕掛けが必要。具体的には成長レビュー、プレビューや可視化する機能などを予定しており、2022年度中に機能開発を行い、提供を開始する予定。

## ＜保護者への共有＞

保護者向けに活動様子を配信する機能はニーズがあることがアンケート結果から見えているが、どのような機能及び価値かの検証を深掘りし、2022年度中に設計を固める予定。

## 全体

## ＜IT利用環境＞

学校内の運動施設における通信環境整備はデジタルツールの活用には欠かせない。GIGAスクール構想を活用した実証先の運動施設内通信環境の整備を学校経由でアプローチし、デジタルツールの活用による顧問や指導者の負担軽減、生徒の成長意欲向上につなげていきたい。

中学生はスマホを所有するものの、学校によってスマホ利用制限があり、デジタルツール活用を普及するには時間を要する可能性があるため、まずは高校生をターゲットとした開発を進めていく予定。

## ＜利用時の負担について＞

実証を通じて得られたヒントをもとに改善をおこない、有償でも利用したいという価値を生み出したとしても、これまで無償もしくは軽微な費用負担で成り立ってきた部活動において、デジタルツールに価値を感じたとしても、有償で利用する文化醸成までには時間を要すると実感。顧問自身が有償価値を感じたとしても、学校関係者、ステークホルダーである保護者、OBOGからの了解を得るには時間と労度を要する。

部活動という新たな市場が形成され、有償利用環境が整うまでの一定期間、EdTech助成金もしくはスポーツ庁の「地域における新たなスポーツ環境の構築に向けた基盤整備」予算の活用を部活動当事者が柔軟に活用できるような仕組みが必要に感じた。

## ＜未検証項目＞

今回の実証では、実証環境整備に時間を要したため、関連グッズの販売及び部費還元における検証は未実施となった。顧問インタビューにて、デジタルツールを通じた各種物販への取り組みは関心があることを確認したため、まずは検証へ協力いただける学校と、主たる購入者となる保護者への左記検証と並行して2022年度に検証を行っていく予定。

## x. 広報活動による取り組みの周知



広報活動	箕面東	実証事業スタート (YouTube) 10月19日	実証事業スタート (HP) 10月26日	指導開始 (インスタ) 11月4日	授業開始 (インスタ) 11月11日	キャプテン研修 トレーニング研修 12月8日	みのひがレター 12月9日	オープンスクール 1月15日
	コナミ	採択リリース 9月6日			指導開始リリース 11月10日	動画リリース 11月26日		
	First/p			提供開始リリース 11月10日				

# x. 広報活動による取り組みの周知


## ニュースリリース

NEWS RELEASE

**経済産業省の「未来の教室」実証事業に採択されました**  
～部活動指導の地域研修の受け皿となりうる「地域スポーツクラブ」の存在を評価して～

2021年9月6日15:00  
コナミスポーツ株式会社

コナミスポーツ株式会社（以下、弊社）は、経済産業省の令和3年度「未来の教室」実証事業（「地域×スポーツクラブ産業研究会」第1次委員の実用に関するテーマ）において、「学校現場を中心とした地域×スポーツクラブ産業の融合による社会システムの構築」をテーマとして応募し、採択されたことお知らせいたします。



弊社が運営する『コナミスポーツクラブ』等でのスポーツ・運動指導の実績を基とし、教育の部活動指導に対する負担軽減や、部活動指導者の質の更なる向上など、学校が抱える様々な課題をとりこに解決し、地域に根拠した企業として地域×スポーツクラブの新たな可能性を模索してまいります。

■経済産業省の令和3年度「未来の教室」実証事業とは

学校が自身で自らの学びを設計していく未来の学び（「未来の教室」）を実現するため、経済産業省が2018年度より各種事業に取り組んでおり、令和3年度は以下のテーマを公募しています。

A. 「未来の教室」ビジョンの実現に関するテーマ  
B. 「地域×スポーツクラブ産業研究会」第1次委員の実用に関するテーマ  
C. STEAMフューチャー構想に関するテーマ  
D. 「学習ログ活用」の実用に関するテーマ

弊社はスマートフォンなどのアプリを通じて部活動支援する「BUKATOOX（ブカツール）」を開発するFirst Penguins株式会社と共同で、Bの「地域×スポーツクラブ産業研究会」第1次委員の実用に関するテーマに対して、下記の実証事業の採択を受け、経済産業省より採択されました。

今後は10月頃より実証事業を開始し、経済産業省へ実証結果の報告を行います。

■採択事業

事業名：学校現場を中心とした地域×スポーツクラブ産業の融合による社会システムの構築  
事業所：コナミスポーツ株式会社、First Penguins株式会社

弊社は今後、学校が抱える課題解決や地域住民の運動促進を図るとともに、より多くの人々がスポーツに親しめる環境の整備とサービスの提供を行い、新たな課題づくりに取り組んでいきます。

経済産業省「未来の教室」実証事業  
大阪府箕面東高等学校での部活動指導を開始

2021年11月10日18:30  
コナミスポーツ株式会社

コナミスポーツ株式会社（以下、弊社）は、11月4日（木）より、経済産業省が実施する「未来の教室」実証事業の一環として、大阪府立箕面東高等学校にて部活動指導のサポートを開始しました。

本日は、経済産業省の令和3年度「未来の教室」実証事業に採択が行われた、「学校現場を中心とした地域×スポーツクラブ産業の融合による社会システムの構築」をテーマとして行う取組です。



トレーニング指導の様子  
学校にフィットネス機器を搬入

■部活動指導のサポート内容

コナミスポーツクラブで実際に採用しているトレーニングマシンを学校内に搬入し、弊社のトレーナー・インストラクターが、野球部・サッカー部・バスケ部・バドミントン部の部員にトレーニング指導を行います。

季節ごとの体力測定の実施をもちに、今後トレーニング指導を行うことによるフィジカル面での変化を数値的に確認していきます。また、First Penguins株式会社が開発する、部活動支援アプリ「BUKATOOX（ブカツール）」を用い、画面でのサポートも行なってまいります。

■今後の展開について

学校現場で採用している時間帯を活用し、地域の皆さまに、トレーニングマシンのご利用や、弊社所属のインストラクターによるヨガ指導等を開催する予定であり、季節が早い段階、ご案内いたします。

引き続き、教育の部活動指導に対する負担軽減、部活動の地域活性化を促した課題解決に向けて取り組んでまいります。また、学校現場の新たな活用方法を見出すことにより、地域に根拠した企業による地域×スポーツクラブの新たな可能性を模索してまいります。



大阪府立箕面東高等学校ホームページ <https://www.gmke-c.ed.jp/mnoshigaki/>

弊社は今後、学校が抱える課題解決や地域住民の運動促進を図るとともに、より多くの人々がスポーツに親しめる環境の整備とサービスの提供を行い、新たな課題づくりにサポートしてまいります。

## 箕面東高校HP・みのひがレター

● 「未来の教室」実証事業を開始しました！

2021年11月10日 18:34 投稿者: 学校情報管理

10月27日（水）、ついでにコナミスポーツ株式会社とのプロジェクトが始まりました！この日は野球部、サッカー部、バスケ部・バドミントン部を対象にした体力測定を実施しました。ウエイトルームでベンチプレスなどのMAX測定、体脂肪では30分まで集中測定などの測定を実施しました。今後はコナミスポーツクラブのトレーナー・インストラクターによる指導のもと、積極的にトレーニングを行い、まずは身体アップを目指します！（広報担当：宮守）




「未来の教室」実証事業の取り組みが、学校のホームページや「みのひがレター」に掲載されています。

「未来の教室」実証事業の取り組みが、学校のホームページや「みのひがレター」に掲載されています。



## x. 広報活動による取り組みの周知

### 箕面東インスタグラム



### オープンスクール



## 大阪府：箕面東高校

## 生じた議論

## ① 部活動の地域移行

- 学校へ残すのか地域クラブへ移行するのか
- 部活動がそこまで盛んではない学校の場合、他校との合同チームなど部活動がそもそも成り立っていない

## ② 受益者負担

- いくらぐらいまで負担可能か
- 負担してもよいと思える指導の品質とは

## ③ 部活動向けアプリ

- 指導員・教員・生徒とのコミュニケーション効率化とその検証

## 示唆

- 校長先生とは地域移行を目指すことに合意しているが、教員の中には今回の実証の外部指導者派遣の形態を望む声も
- 現状問題となっている働き方改革、高校の人員不足と絡め、今後の協議が必要

- 継続したいとの意見が9割で生徒側からの満足度は非常に高かった
- 一方、費用は負担できないという回答が6割と過半数を超え、負担額は3,000円以下が3割、5,000円以下が1割とシビアな回答。今回のマシン・コナミ指導者を導入した質の高い指導がいかに受益者負担に結びついたのか、別途検証が必要

- 大前提として、学校におけるIT環境の整備が課題。屋外にWi-Fiが届かず使えない場面が多々あった
- 指導を実施した種目のコンテンツが少なく、生徒の利用頻度が低い結果となった。
- 加えて、トレーニング記録の入力の煩わしさもあり、顧問による利用の促し、インセンティブによる入力促進を検討する必要がある

## 大阪府：箕面東高校

## 生じた議論

## ④ 学校開放

- 学校開放に必要な届出、要件
  - ↳ 校長判断で可能・・・どの条例・規則に明示？
  - ↳ 届出の流れ
- 学校施設に一般人が立ち入る際に必要な確認事項
- 学校開放に対する一定の制約など
- 結局のところ、地域住民から利用料を徴収しての運営は可能か

## 示唆

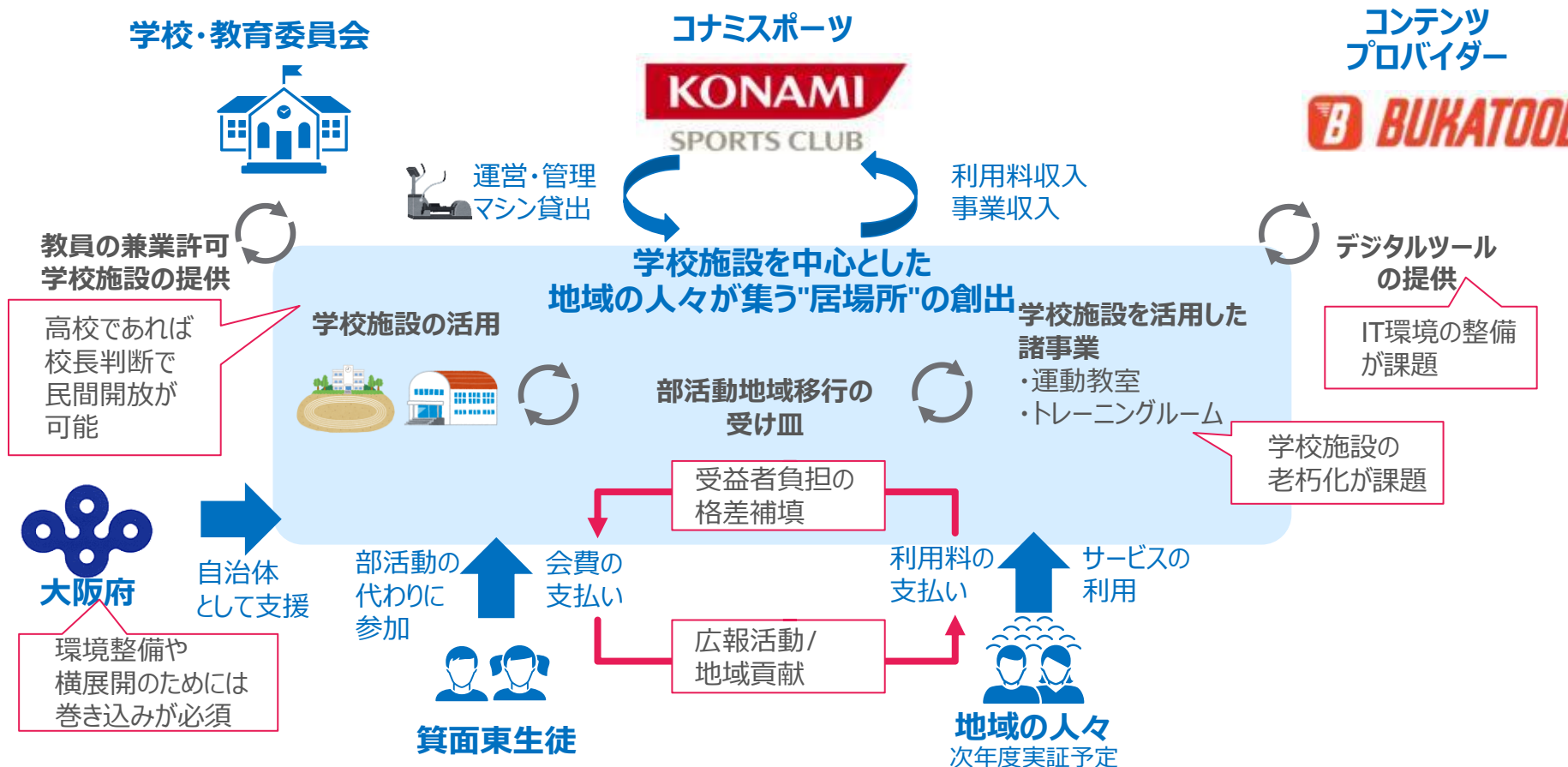
- 公立高校利用の可否そのものは校長先生で判断可能ということがわかった。
  - 根拠としては、大阪府公有財産規則、行政財産使用料条例 を使用
  - 手順としては、行政財産使用許可申請書を行政財産管理者へ提出
  - そのうち、今回の実証における学校開放は学校主導で行う形を取ったため、申請手続きと使用料が不要となった
- ただし、プライバシーの観点での工夫が必要
  - 今回の実証でも事前申し込み＋定員制とし、入校時に受付簿での本人確認を実施する想定であった
  - 動線の重複を避けるために、まずは休日の学校開放からトライ。実証を行いながら動線を避ける手段を講じることができれば、平日昼間の民間開放も可能となり得る
- 営利企業による学校利用が可能であることはまだまだ周知されていない（現場の教員含め誤った認識を持っている）ので改めて広く通達する必要がある。

# 目次～大阪府立箕面東高校～

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
  - ① メイキングストーリー
  - ② そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

## 検証後の目指す姿（大阪府）

検証の結果、当初掲げた目指す姿は、一つの高等学校を中心としたモデルとしては成り立つことが分かった。次年度はこのモデルの自走可能性を調査するために、地域の人々への開放を見据えた実証事業を行う予定。今年度の課題として浮かび上がった学校施設の老朽化やIT環境の整備は教育委員会の巻き込みが必須であるため議論も継続する。



## 事業計画

## 2022年度

フュージビリティスタディを実践に  
-FSを踏まえた事例創出-

- 受益者負担による部活動指導員派遣
  - FSにて検証した指導単価での派遣をモデル校で実施
- 受益者負担のための予算捻出
  - 保護者負担
  - 自治体負担
  - 政府負担
  - 学校施設での資金循環
- 施設利用時の利用料徴収
  - 妥当性の検証
  - 運動実施率向上の検証

## 2023年度

フュージビリティスタディを実践に  
-最終的に目指す姿の段階的实施-

- 休日の部活動の完全な地域移行
  - 継続的に部活動を行いたい教員の対応
- 地域への学校施設開放（有料）の実施
  - 地域住民運動教室展開
- 学校施設管理運営の検証（FS）
  - 施設管理の検証（修繕、備品、施設全般）
  - 放課後サービスの検証（スポーツ活動以外）

## 2024年度

モデル校以外での横展開  
-最終的に目指す姿の段階的实施-

- 地域スポーツクラブでの部活動指導本格開始
- 学校施設内での地域スポーツクラブ開設